

第2学年4組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年11月7日(水)5校時

13時40分～14時25分 2年4組教室

2. 議題「2-4ミニミニ運動会をしよう」

3. 議題について

(1) 児童の実態

素直で優しく、落ち着いて過ごすことができている学年である。年度初め、担任の想い【学級目標「なっとうクラス」～ねばねばつながるために～】のもと、自分たちが目標としていく内容を考えた。児童らから挙がった言葉は、「やさしさいっぱい・あいさつこえかけいっぱい・何でもすすんでチャレンジ」であった。それらを積み重ねていくことで、【自分らしさを出し、仲間と力を合わせるよろこび】が生まれ、なっとうのようにつながるはずだと考えてスタートした。

学級会についての説明をしていく中で、「クラスの歌を作りたい」という声があがり、実際に作成した。月・木・金曜日の朝の会の時間に歌うと決め、実践している。歌う中で、指揮をふる児童が出てきたり、手拍子でリズムをとる仲間が出てきたりと、友だちの工夫をみんなで吸収し合える力がある。また、「しっかり覚えたら、他のクラスや学年にも聴かせに行きたい!」と気持ちを高ぶらせる様子も見られるなど、新しい試みにチャレンジしようとする気持ちが高い児童が多い。これまでの学級会でも、遊びを合体させて、オリジナルのゲームを生み出す様子も見られ、学級会で話し合うことで、楽しい思い出が作れると気づく児童も出てきている。

はじめのころの学級会は教師主導で行い、進め方も確認しながら取り組んできた。最初はノートを用意せず、自分の思いを伝えることに重点をおき取り組んできた。学級会は、「自分たちの考えたことが形になる楽しい活動だ」と認識し、積極的に発言する様子も見られている。一方で、遊びは出せても、なぜその遊びがよいと思っているのかの理由をうまく言葉にできないでいる児童も多く、「理由は言えませんが…」と断って、遊びだけを選んでいく実態もあった。そこで、ノートを用意し、まずは自分の思いをノートに残していくようにした。ただし、ノートはあくまでも自分の考えを書き留めておくもので、「友だちの意見を聞く中で、自分の意見は変わっていてもよい」と伝え続けてきているため、学級会ではノートを机にしまって発言することにしている。このような取り組みの中で、発言に困っている児童がいると、近くの席の仲間同士で「大丈夫。言ってみなよ。」「いける。いける。」と声を掛けあいながらサポートしていく場面も見られるようになってきている。

第5回の「前期の思い出パーティーをしよう」では、めあてには合っているので、何に決まってもいいという思いもあり、なかなかゲームが1つに決まらなかった。話合いが進む中で出された合体案の遊びをイメージできない児童が多いように感じたため、急きょその場でゲームをやってみる場面もあった。実際に体験してみる中で、ゲームとしては難しいなどの意見も出てき、最終的に「2年4組じょうしきゲーム」(〇〇といえば～!)に決めることができた。前期最後のこのゲームで「2年4組といえば」を入れたいと担当の児童らで考え出題すると、「なっとうクラス」「助けあうクラス」「つながるクラス」という学級目標につながる回答がたくさん出て、みんなで思わず盛り上がった場面も見られた。

第6回「かぼちゃパーティーをしよう」では、出し合う段階ですべてオリジナルゲームが出ていたため、ゲームの名前と内容(ルール)まで事前には書き出し、学級会を開いた。自分たちで初めて、時間内に柱1・柱2の話合いを終えることができた。児童も2つの柱について時間内に話し合えたことを喜ぶとともに、みんなが自分の考えをしっかりと伝えることが、よりよい話合いになると気づき始めている。

今後は、自分の意見を進んで発言するだけでなく、友だちの意見をききながらより柔軟に発言し、クラスみんなが納得できる提案ができるようになってほしいと願っている。

＜学級目標＞

「なっとうクラス」

～ねばねばつながるために～

やさしさいっぱい!

あいさつこえかけいっぱい!

何でもすすんでチャレンジ!

(2) 議題選定の理由

6年生が地区別運動会に向けて頑張っている姿を毎日目にしてきた児童らは、自分たちもあんな風に「みんなで力を合わせて行事を成功させたい」という気持ちが高まってきたようである。また「スポーツの秋」ともいわれる季節にクラスのみなどと体を動かして楽しみたいという思いから、この「2-4ミニミニ運動会」を行うことにした。この会を通して、クラスのつながりをより深めていけたらと思う。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
10月中旬	「2年4組のミニミニ運動会」をしたいという思いが寄せられる。	○提案者がなぜこの議題を行いたいと思ったのか、そこに込められた思いを探り、学級会に向けて、思いが伝えられるようにする。 ☆学級とのつながりに関心をもち、学級会で話し合いたいことについて主体的に考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月1日(木) 帰りの会	計画委員会と担任で議題やめあてを決め、役割を確認する。帰りの会で、提案理由・めあてを伝える。	○学級会での流れや役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆教師とともに、話し合いの進め方やめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆議題に関心をもち進めようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月2日(金)	どんな種目がよいか出し合う。	○短冊カードを用意しておき、そこへ自由に書きこめるようにしておく。 ○近くの友だちと意見を交流し合う時間を設ける。 ☆学級会に向けて、テーマやめあてに沿ったゲームはどんなものがあるか、進んで考えたり、伝え合ったりしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月5日(月) 朝休み	計画委員会で、出てきたゲームを整理しておく。	○提案理由やめあて・場所を意識させながら整理するように声をかける。 ☆めあてにそった内容のものを精選することができる。 (集団活動や生活についての知識・理解)
11月5日(月)	整理したものの中から、自分ならどの種目がよいか、自分の考えを学級会ノートに書く。	○学級会ノートに自分の考えをかけるように用紙を用意する。 ☆めあてを意識しながら、自分の考えを、理由を添えて書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月6日(火) 中休み	計画委員会で学級会の流れ、話し合いの進め方について確認しあう。	○計画委員会の児童が会をイメージできるように必要に応じて助言する。 ☆担任とともに、学級会の進め方を理解し準備を進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

① ねらい：2年4組がみんなでつながれる運動会の種目と、盛り上げる工夫について話し合っ

② 活動計画

児童の活動	評価(☆)と支援(○)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. クラスの歌</p> <p>4. 議題、提案理由、めあての確認</p> <p>議題 「2-4 ミニミニ運動会をしよう」</p> <p>提案理由 6年生がやっていた地区別運動会のように、みんなで練習したり、協力すると仲が深まると思いました。スポーツの秋に、2年4組でも種目を考えて、みんなで体を動かして力を合わせる楽しい会にしたいと思い提案しました。</p> <p>話し合いのめあて みんなで力を合わせるミニミニ運動会にしよう</p> <p>5. 決まっていることの確認</p> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none">・日時：11月16日(金)3時間目・場所：体育館・準備体操と8の字とびはやる <p>話し合い</p> <p>柱1：しゅもくを1つ決めよう</p> <p>柱2：会を盛り上げるための工夫を考えよう <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none">・くすだま・トロフィー・賞状・メダル・ゴーゴーゴーの歌・応援団 <p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. 振り返り</p> <p>8. 先生の話</p> <p>10. おわりの言葉</p>	<p>○安心して進められるように事前に進行内容を確認する。</p> <p>○お互いの顔が見られ、声も届きやすいように、机をコの字型にしておく。</p> <p>○見通しをもち安心して進められるように、司会台本を用意する。</p> <p>○話し合いのめあてを意識できるように、めあてを掲示する。</p> <p>○提案者の思いが伝わるように、事前に確認をしておく。</p> <p>○意見を事前に集め、短冊に書き、比べ合うからスタートし、内容を理解したうえで比べられるようにする。</p> <p>○話し合っている内容からそれてしまった時には、めあてや提案理由に戻れるように適宜助言して進めていく。</p> <p>☆司会グループとしてそれぞれが自分の役割を果たそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○友だちの考えを聞きながら、心配なことや付け加えたいことを積極的に発言しようとする場面で、うまく伝わらない場面では教師が代弁できるようにする。</p> <p>☆友だちの意見で取り入れられそうな部分はないかと思考している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いで自分が頑張ったところや、友だちの素敵だったところなどを振り返られるように声かけをする。</p> <p>○計画委員会の頑張っていたところやめあてを達成するための意見、前回の学級会からの成長などを中心によかった部分を伝え、次回につながるようにする。</p> <p>○クラス全体で話合ったことの意義を伝え、実践までの準備期間の意欲づけを行う。</p> <p>☆友だちのよいところを進んで見つけている。 ☆みんなで決めたことの実践に向けて、期待を抱いている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>

③ 本時の視点

- 児童が、話し合いのめあてを意識して学級会にのぞんでいたか
- 教師の助言のタイミングは適切であったか

④ 板書計画

第7回 2年4組 学級会

はじめの言葉

司会グループ紹介

クラスの歌

議題
「2-4 ミニミニうどんどう会をしよう」

提案理由
○○さん ○○さん

めあて
みんなで力を合わせるミニミニ運動会にしよう

柱1 しゅもくを一つきめよう

○しりとりにレレー

○玉入れ

○かり人きようそう

○きようりよくリレー

○ときようそう

○リズムなわとび

○ゆうぐへレッツゴー

柱2 運動会をもちあげるくふうを考えよう

○ゴーゴーゴーの歌

○トロフィー

○しようじよう

○メダル

○くすだま

○おうえんだん

決まったことのかくにん

ふりかえりタイム

先生から

〈決まっていること〉

十一月十六日（金）三時間目
場所：体いくかん
じゅんぴ体そうと8の字とびはやる

プログラム

一. はじめの言葉

二. じゅんぴ体そう（ダンス）

三.

四. 8の字とび

五. かんそうタイム

六. 先生から

七. 終わりのことば

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）
11月8日（木）	役割分担	○必要な役割や活動を書き出し、自分ができそうなものや、やりたいことのめぼしをつけられるようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月9日（金）～11月15日（木）の朝休み・中休みなど	運動会にむけての準備	○決まった計画に向けて取り組めるように声かけをする。 ☆自分の仕事を自覚し、役割ごとに協力して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月16日（金）3時間目 体育館	「2-4 ミニミニ運動会」	○準備してきたことを、自信をもって実践できるように支援する。 ☆話し合いで決めた内容を理解し、みんなで協力して取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月16日（金）帰りの会	実践を振り返り、カードの書く	○活動をしてよかったこと、感じたこと、次の活動に生かせそうなことを中心に振り返るように声をかける。 ☆活動について、よかったところ、次に生かしたいところに気づき、次の会にいかそうとしている。 (集団活動や生活についての知識・理解)